

# 箱根湿生花園の 花だより

2018年4月15日発行



ヒマラヤの青いケシ

今年の見頃は  
4月中旬から

今年は例年になく、足早に春の花が咲き出しています お目当ての花があれば早めにお越しください！箱根湿生花園をよりお楽しみいただくために、今季から花だよりをリニューアル！園内の旬な情報をいち早くお届けします。



## Pick Up ニリンソウ キンボウゲ科



ニリンソウは北海道から九州の湿った山野に自生する多年草です。ふつう1本の茎に白花を2個咲かせることが多いので、ニリンソウと名が付きましたが、花を1個や3個付けることもあります。「二輪草があるなら、一輪草もあるの？」と聞かれそうですが、同じ仲間にイチリンソウ、サンリンソウがあります。また、ニリンソウの萼片は温度に敏感で、太陽の光を浴びると開きます。そのため、写真を撮りたい方は晴れている日に撮影してみてください。箱根湿生花園では、低層湿原や湿生林のエリアなど色々な場所で群生する姿を観察することができます。晴れている日だけ花開く、その清楚な白花をぜひお楽しみください！



アカボシシャクナゲ  
「赤星石楠花」(ツツジ科)  
台湾の高地原産の常緑小高木。

## File 1 アカハライモリ (井守) 有尾目イモリ科イモリ属

アカハライモリは主に本州、四国、九州などの水田や池など流れのほとんどない淡水に生息している日本固有のイモリです。園内では流れが緩やかな浅い場所で見られますが、特に春は繁殖のために集まっているので観察しやすい季節です。成体はしばらくすると水面に空気を取り込みに来ます、その時赤い腹が見えますのでよく観察して見てください。同じ両生類であるサンショウウオと勘違いされますが生息環境や繁殖方法などが大きく異なり、似ているようで異なる生き物です。



## Botanical Gallery



シラネアオイ  
北海道～本州(中部以北)多雪地の山地に生える多年草。



ミツガシワ  
北海道～九州の山地の湿地に自生。名前の由来は、カシワのような大きな葉が三枚つくことから。



オオバナノエンレイソウ  
北海道～東北地方の湿った林内に群生する多年草。



エゾノリュウキンカ  
北海道、本州(北部)の湿地や水辺などに生える多年草。こう名前の由来は、北海道に多く自生し、黄金色の花が立つように咲くことから。



オオバクスミレ  
日本海側の山野に生える多年草。野生では、根茎を伸ばし、群生する。



ミツバツツジ  
関東～近畿の太平洋側に分布し、尾根や岩場、雑木林などに生育する。おしべが5本であることが本種の特徴。



リュウキンカ「立金花」(キンボウゲ科)  
本州の山地の湿地に生える多年草。名前の由来は、花茎が直立し黄金色の花を付けることから。

### ご利用案内

通常営業 9:00～17:00 (最終入園 16:30)  
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

### アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>